

THE BIOTECHNOLOGY
COMPANY™





試薬/機器事業と CDMO事業を通じ、 ライフサイエンス産業の インフラを担うグローバル プラットフォーマーを目指します。

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに2023年度(第22期)第2四半期連結累計期間の事業概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長 仲尾 功一

第2四半期連結累計期間の業績について

2023年度(第22期)の当社グループは、2025年度を最終年度とする、6カ年の「長期経営構想2025」および3カ年の「中期経営計画2025」のもと、試薬・機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、ライフサイエンス産業のインフラを担うグローバルプラットフォーマーを目指すための取り組みを推進しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の法令上の位置付けの変更による検査関連試薬の販売減少等により、19,116百万円(前年同期比41.3%減)と減収となりました。売上原価は、売上高の減収等により5,772百万円(同45.3%減)となりましたので、売上総利益は、13,343百万円(同39.4%減)と減益となりました。販売費及び一般管理費は、人件費および研究開発費等が増加し、11,933百万円(同7.0%増)となり、営業利益は、1,410百万円(同87.0%減)と減益となりました。

営業利益の減益に伴い、経常利益は、1,598百万円(同85.4%減)、税金等調整前四半期純利益は、1,588百万円(同86.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,084百万円(同87.3%減)とそれぞれ減益となりました。

■第2四半期 売上高・営業利益・研究開発費

売上高 **191 億円** 前年同期比 ▲41.3%

営業利益 **14 億円** 前年同期比 ▲87.0%

研究開発費 **42 億円** 前年同期比 10.1%

■通期の見通しについて

通期の業績については、インフレの長期化や経済不況の影響等を受けた世界のライフサイエンス研究開発市場の低迷や、製品やサービスの激しい価格競争などの厳しい事業環境を反映して、2023年5月11日に発表した業績予想(前回予想)を修正しました。

売上高は、海外の試薬/機器事業および受託事業の遺伝子解析受託を中心に、前回予想を下回る見込みで

す。また、減収の影響により各利益項目についても前回予想を下回る見込みです。これらにより、連結業績予想は、売上高45,500百万円(前年同期比41.8%減)、営業利益3,000百万円(同85.4%減)、経常利益3,200百万円(同84.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2,000百万円(前回予想比87.5%減)を見込んでいます。

厳しい予想ですが、積極的な事業展開によって「中期経営計画2025」において定めた各計画等を着実に実行し、持続的な会社価値の向上に努めてまいります。

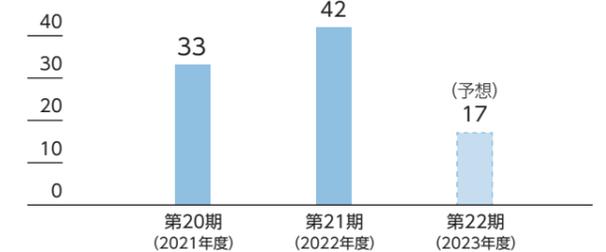
■配当について

当社は、研究開発活動を積極的に実施していくため、内部留保の充実に意を用いつつ、株主の皆様への利益還元についても重要な経営課題と位置付け、経営成績および財政状態を総合的に勘案して利益還元を実施してい

くことを基本方針としています。

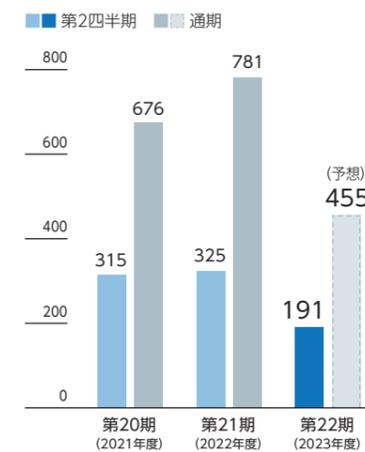
2023年度は厳しい業績を予想していますが、期末配当は当初計画を据え置き、1株当たり17円を予想しています。昨年度から減配となりますが、株主の皆様におかれましては、当社へのご理解とご支援を引き続きお願い申し上げます。

■1株当たりの配当額(円)

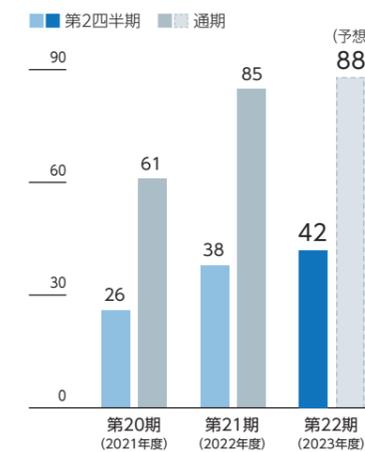


■連結財務ハイライト

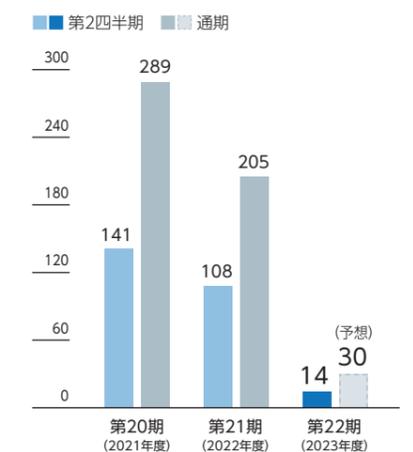
売上高(億円)



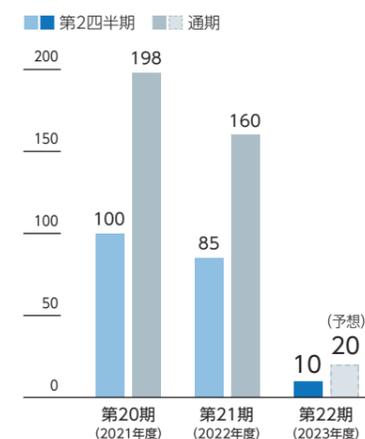
研究開発費(億円)



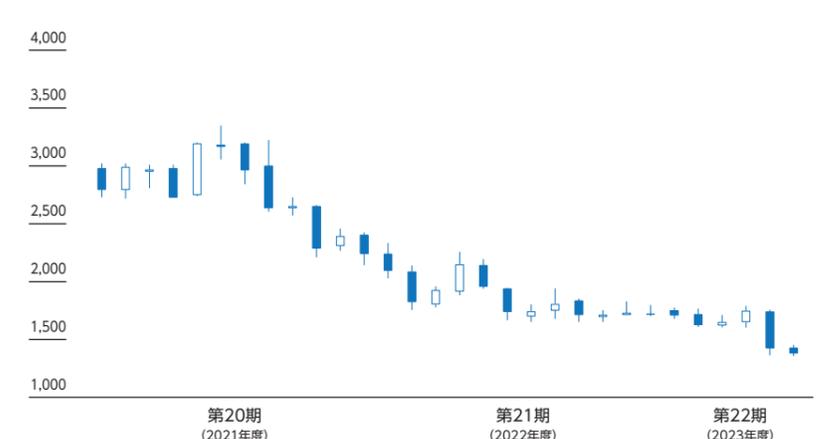
営業利益(億円)



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益(億円)



株価推移(円)



事業の概要

大学や企業のライフサイエンス分野の活動を、試薬・機器・受託の提供を通じて支援する事業のほか、独自の創薬基盤技術による遺伝子医療事業を展開しています。

試薬

遺伝子や細胞の研究用試薬やウイルス検査用の体外診断用医薬品を扱っています。



機器

細胞や遺伝子を解析する研究用装置を扱っています。



受託

再生医療等製品の開発・製造や、遺伝子解析/検査などのCDMO受託を展開しています。

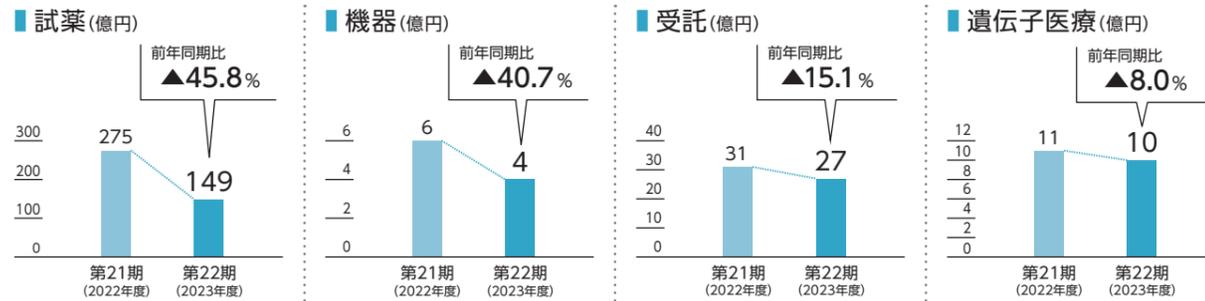


遺伝子医療

独自の創薬基盤技術を利用して、遺伝子治療等の製造補助剤や新規モダリティ(治療法)の開発を進めています。



第2四半期連結累計業績(売上高)



当第2四半期連結累計期間の試薬・機器事業では、新型コロナウイルス感染症の法令上の位置付けの変更の影響等を受け検査試薬や関連製品の売上が前年同期比で減少しました。また、受託では、再生医療等製品関連受託・遺伝子解析/検査受託がともに減収となりました。遺伝子医療事業では、レトネクチン®などの遺伝子治療薬製造補助剤が減収となりました。

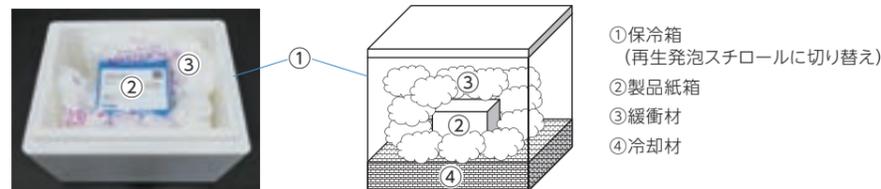
SUSTAINABILITY

輸送用保冷箱を再生発泡スチロール製に切り替え

研究用試薬には、常温のほか、冷蔵、冷凍など、取り扱いや輸送に温度管理が必要となるものがあります。輸送にあたっては、熱、衝撃、振動による影響を避けるため、製品仕様に合わせて冷却材や緩衝材と共に発泡スチロール製の保冷箱に梱包し、品質・性能を保持しています。

タカラバイオでは、輸送用保冷箱の材質を、使用済み発泡スチロールや廃家電のポリスチレンから再生した樹脂を100%使用した再生発泡スチロールに変更しました。これにより年間約10トンの発泡スチロールがリサイクル素材に切り替わります。

このほか、アルミレス化やFSC認証の紙材料の採用など、製品パッケージの環境負荷軽減対策を進めています。



くるみん認定を取得

次世代の育成に向けての積極的な取り組みを行う企業として、2023年7月7日付で滋賀労働局長から「子育てサポート企業」として認定(くるみん認定)されました。

くるみん認定とは、次世代育成支援対策推進法に基づき、雇用環境の整備等にかかる行動計画を策定し、その計画に定めた目標を達成したなどの一定の基準を満たした企業に対して、各都道府県の労働局長が認定する制度です。

認定にあたっては、自社の制度利用状況を分析し、産休・育休に関する相談窓口の設置や企業連携保育園の拡充など、産休・育休から復帰しやすい環境を整えたことが評価されました。



NEWS 1

正確な検便検査を可能とする新規リアルタイムPCR用試薬を発売

タカラバイオは、検便検査用のリアルタイムPCR試薬(以下、本試薬)を開発し、12月より発売開始しました。

検便検査では、便が正しく採取されていない検体では、結果が偽陰性と判定される場合があり、その見極めが課題となっています。本試薬は、ヒト腸内で優勢な菌種を内在性コントロール*として検出するリアルタイムPCR試薬です。正しく検体が採取されPCR反応液に添加された場合は、安定してシグナルが検出されるため、正確な検便検査が可能です。

本試薬は、2種のラインナップ(内在性コントロールを単独で検出する試薬、検便検査の代表例であるノロウイルスも同時に検出する試薬)により構成され、腸管系ウイルス感染症胃腸炎の流行期等の疫学調査や検便検査の効率化に役立つことが期待できます。

タカラバイオはPCRの産業分野への展開の一環として、細菌やウイルスの検出キットを数多く販売しています。本試薬により食品衛生分野におけるPCRの利用拡大と検査現場

における作業の効率化を実現します。

※本製品は研究用試薬です。

*内在性コントロール…検体中に一定量存在している遺伝子を利用した指標(コントロール)。PCR検査では、PCR反応液に検体が添加されたかどうかを客観的に判別するために用いられます。



左から
Norovirus (GI/GII) Typing Kit (Endogenous Control)
Endogenous Control qPCR Kit for stool
Endogenous Control DNA for stool

NEWS 2

mRNAワクチン原薬や部素材等を製造する遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟を建設

タカラバイオは、滋賀県草津市の本社地区内にmRNAワクチン原薬やmRNA製造用酵素等の部素材を製造する遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟(以下、本施設)を建設します。着工は2024年度、竣工は2027年度の予定です。

本施設は、デュアルユース型施設として、感染症パンデミック発生時(有事)には国の指示に基づきウイルスベクターワクチン原薬、mRNAワクチン原薬およびmRNA製造用酵素等の部素材を製造します。

一方、平時は、CDMO事業に加え、遺伝子治療薬の製造補助剤等の製造や、再生・細胞医療・遺伝子治療に関連する自社の創業事業を行う予定です。本施設における有事の製造品群は、平時のCDMO事業/創業事業等の自社事業で扱う製品群と設備・技術の共通性が高く、平時から有事への業務シフトを円滑に進めることができます。



完成イメージ

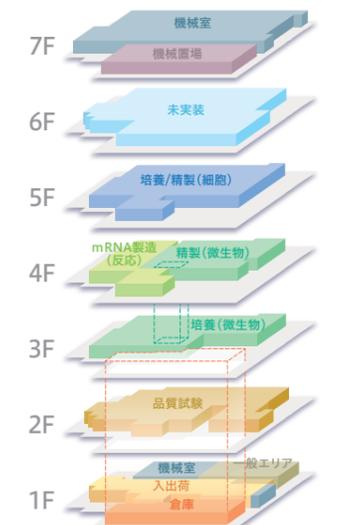
本施設は、経済産業省「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」による補助金と自己資金の拠出により建設します。

当社は今後も、再生・細胞医療・遺伝子治療のCDMOのリーディングカンパニーとして、拡大する製薬企業等の開発を支援するとともに、新規モダリティを創造する創業事業を推進し、人々の健康に貢献します。

本施設の概要

名称/ 建設予定地	遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
目的	パンデミック時：mRNAワクチン原薬、ウイルスベクターワクチン原薬およびmRNAワクチン製造用部素材製造 平時：遺伝子治療用ベクター、核酸医薬品、レトネクチン®、mRNA製造酵素などの遺伝子治療薬製造補助剤および創業事業
概要	①建屋：地上7階免震構造、建設面積：2,650㎡、延床面積：16,400㎡ ②細胞系製造エリア、核酸医薬品製造エリア、微生物系製造エリア、品質管理エリア等で構成し、必要な設備を装備 ③竣工時に未実装エリアを設け、将来の市場ニーズに柔軟に対応

遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟(計画)



連結財務状況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2023年3月31日現在	当第2四半期 2023年9月30日現在	科目	前連結会計年度 2023年3月31日現在	当第2四半期 2023年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	77,569	62,285	流動負債	14,375	8,922
① 現金及び預金	51,847	38,412	支払手形及び買掛金	2,323	2,061
受取手形及び売掛金	12,567	9,402	未払法人税等	672	289
商品及び製品	6,248	6,584	賞与引当金	1,065	933
仕掛品	1,125	1,356	その他	10,313	5,638
原材料及び貯蔵品	3,714	3,914	固定負債	2,372	2,231
その他	2,184	2,707	退職給付に係る負債	992	1,054
貸倒引当金	△118	△92	その他	1,379	1,177
固定資産	51,632	60,998	負債合計	16,747	11,153
有形固定資産	40,956	50,308	純資産の部		
建物及び構築物	21,034	21,394	株主資本	104,906	100,933
機械装置及び運搬具	3,500	3,628	資本金	14,965	14,965
工具、器具及び備品	4,340	4,475	資本剰余金	32,893	32,893
土地	8,654	8,943	利益剰余金	57,047	53,074
② 建設仮勘定	2,102	10,546	その他の包括利益累計額	7,312	10,922
その他	1,323	1,319	為替換算調整勘定	7,680	11,257
無形固定資産	9,047	9,050	退職給付に係る調整累計額	△367	△335
のれん	6,674	6,963	非支配株主持分	235	274
その他	2,372	2,087	純資産合計	112,454	112,130
投資その他の資産	1,627	1,639	負債純資産合計	129,202	123,283
資産合計	129,202	123,283			

連結貸借対照表のPOINT ① 現金及び預金・・・遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟建設工事の契約一時金の支払い等による減少です。
② 建設仮勘定・・・遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟建設工事の契約一時金の支払い等による増加です。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期累計 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	科目	前第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期累計 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
売上高	32,587	19,116	経常利益	10,955	1,598
売上原価	10,562	5,772	特別利益	902	1
売上総利益	22,025	13,343	固定資産売却益	250	1
販売費及び一般管理費	11,154	11,933	受取保険金	652	—
営業利益	10,870	1,410	特別損失	27	12
営業外収益	170	248	固定資産除売却損	12	12
受取利息	65	84	その他	14	—
為替差益	—	74	税金等調整前四半期純利益	11,831	1,588
不動産賃貸料	72	78	法人税、住民税及び事業税	2,538	684
その他	33	11	法人税等調整額	721	△195
営業外費用	85	59	法人税等合計	3,259	489
支払利息	12	12	四半期純利益	8,572	1,099
為替差損	38	—	非支配株主に帰属する四半期純利益	33	14
不動産賃貸費用	32	35	親会社株主に帰属する四半期純利益	8,538	1,084
その他	1	11			

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期累計 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
四半期純利益	8,572	1,099
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,264	3,601
退職給付に係る調整額	21	32
その他の包括利益合計	6,286	3,634
四半期包括利益	14,858	4,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,798	4,693
非支配株主に係る四半期包括利益	59	39

連結キャッシュ・フロー計算書のPOINT ① 営業活動によるキャッシュ・フロー・・・税金等調整前四半期純利益の減少、法人税等の支払額の減少等の正味の影響による減少です。
② 投資活動によるキャッシュ・フロー・・・遺伝子・細胞プロセッシングセンター3号棟建設工事の契約一時金の支払い等による支出の増加です。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	当第2四半期累計 2023年4月1日から 2023年9月30日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	8,672	2,087
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,518	△10,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,034	△5,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,325	851
現金及び現金同等物の増減額	△1,554	△12,993
現金及び現金同等物の期首残高	22,160	49,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,606	36,065

会社概要 (2023年9月30日現在)

会社概要

商号	タカラバイオ株式会社 TAKARA BIO INC.
本店所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号 電話 077-565-6920 (代表)・6970 (IR担当)
設立年月日	2002年4月1日
資本金	149億6582万8496円
事業内容	試薬・機器などの製造・販売事業、 受託事業、遺伝子医療事業
従業員数	1,847名(タカラバイオグループ連結)

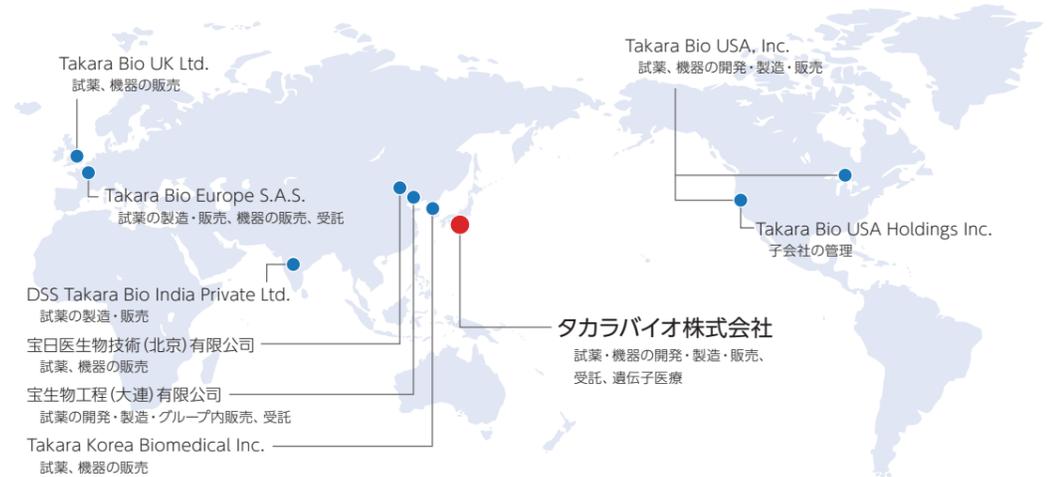
株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000 株
発行済株式総数	120,415,600 株
株主総数	46,775 名
単元株主数	43,251 名

所有者別株式分布状況



タカラバイオグループ会社



取締役および監査役

取締役

代表取締役社長	仲尾 功一
取締役副社長	峰野 純一
専務取締役	浜岡 陽
専務取締役	宮村 毅
専務取締役	日下部 克彦
取締役	木村 睦
取締役(社外取締役)	河島 伸子
取締役(社外取締役)	木村 和子
取締役(社外取締役)	松村 謙臣

監査役

常勤監査役	喜多 昭彦
常勤監査役	玉置 雅英
監査役(社外監査役)	鎌田 邦彦
監査役(社外監査役)	姫岩 康雄
監査役(社外監査役)	牧川 方昭

ホームページでもさまざまな
情報を発信しています。
<https://www.takara-bio.co.jp>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により、当社ウェブサイトに掲載いたします。 ウェブサイトアドレス https://www.takara-bio.co.jp
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。	株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
単元株式数	100株		
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場		
証券コード	4974		

株式に関するお問い合わせ先 以下の表をご覧ください。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日を除く)
マイナンバーのお届出に 関する電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-84-0178(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日を除く)
各種手続お取扱店 (住所変更、配当金 受取方法の変更等)		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店	※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
株主総会資料の電子提供 制度(書面交付請求) についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行 までお問い合わせ願います。	みずほ信託銀行株式会社 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日を除く)
ご注意	支払明細発行については、右欄の「特別口座の 場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・ 各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座に登録されている株式は、証券市場での売買はできません。 株式売買のためには、証券会社にお取引口座を開設し、みずほ信託銀行の 特別口座から株式の振替手続が必要となります。

■単元未満株式を保有されている方へ

単元未満株式(100株未満株式)をお持ちの場合、会社に対して買取請求を行うことができます。

【お問い合わせ先】証券会社の口座で管理されている単元未満株式 ⇒ 口座を開設されている証券会社

特別口座で管理されている単元未満株式 ⇒ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

口座振込による配当金受取のご案内

	銀行口座で受領	証券口座で受領	
<p>「配当金振込指定書」</p> <p>をご提出いただくだけで、手続きが完了します。お手続きの詳細・お問い合わせは、お取引の証券会社へご連絡ください。(特別口座は除く)</p> <p>配当金のもらい忘れがなくなります</p> <p>銀行窓口に行く必要がありません</p>	<p>配当金のお受け取り方法は、右記の3つの方式からお選びいただけます。</p>	<p>配当金のお受け取り方法は、右記の3つの方式からお選びいただけます。</p>	
	<p>1 個別銘柄指定方式</p> <p>A社の配当金 → ○○銀行</p> <p>B社の配当金 → △△銀行</p> <p>銘柄ごとに銀行等の口座を指定し、配当金をお受け取りいただける方式です。</p>	<p>2 登録配当金受領口座方式</p> <p>A社の配当金 → □□銀行</p> <p>B社の配当金 → □□銀行</p> <p>すべての銘柄の配当金を、あらかじめご指定いただいた1つの銀行等の口座でお受け取りいただける方式です。</p>	<p>3 株式数比例配分方式</p> <p>A社の配当金 → 甲証券</p> <p>B社の配当金 → 乙証券</p> <p>お取引の証券会社の証券口座で配当金をお受け取りいただける方式です。</p>

免責事項: 本報告書に記載されている業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

タカラバイオ株式会社

〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
URL: https://www.takara-bio.co.jp

